

発表

舟橋聖一顕彰文学賞

舟橋聖一顕彰文学賞は、彦根市の名誉市民である作家・故舟橋聖一氏の功績をたたえ、広く青少年の文学奨励をはじめとした教育・文化の振興を図るために設けられています。18～30歳の青年を対象とした第14回「青年文学賞」には全国から73編の応募が、また、近畿各府県および滋賀県に隣接する各県の小・中・高校生を対象とした第17回「文学奨励賞」にはちょうど200編の応募がそれぞれありました。選考の結果、次のように受賞作品が決定されました。表彰式は12月1日(日)、市内のホテルで行われます。

青年文学賞

最優秀賞

『フリーズ・ムーン』

小説

藤川未央さん
(東京都小平市)

佳作

『コンタクト』

小説

上坪裕介さん
(埼玉県所沢市)

(埼玉県所沢市)

藤川さんの受賞の言葉

書き始めてから書き上げるまでにかなり長い時間を要した作品です。そのせいで、文中に出てくる用語に古いものがあったり、割合に新しいものもあつたりします。その時々で僕が興味を持っていたことが文章に反映されていて、読み返してみると個人的にはおもしろくもあります。5、6年前に起こった東電OJ殺人事件を取り扱った本の中に、家族機能研究所長の斎藤孝氏の一文が載っていて、インナーマザーという概念に興味をひかれ、作品に取り入れてみたいと思いました。事件以降、東電OJ症候群という言葉が使われるようになったようです。最後に、僕の拙い作品を賞に推してくださいました選考委員の諸先生方、皆様方に深く感謝の意を表します。

市内の小・中学生5人が入選

青年文学賞



最優秀賞
藤川未央さん



佳作
上坪裕介さん

文学奨励賞



小学生・第1席
松村すみれさん



小学生・第2席
口分田和輝さん



小学生・第3席
西尾風優香さん



中学生・第1席
田崎勝也さん



中学生・第2席
中居真輝さん



中学生・第3席
関由佳理さん



高校生・第2席
橋本智子さん



高校生・第2席
原田知佳さん



高校生・第3席
平井涼さん

文学奨励賞

小学生の部

第一席

『龍の一笔書き』 作文

松村すみれさん(稲枝西小学校6年)

第二席

『ぼくのチャレンジびわ湖一周』 作文

口分田和輝さん(旭森小学校5年)

第三席

『わたしのひいおばあちゃん』 作文

西尾風優香さん(多賀小学校3年)

犬上郡多賀町

中学生の部

第一席

『家の解体』 作文

田崎勝也さん(中央中学校1年)

第二席

『青春18きっぷ 北陸飛驒路の旅』 紀行記録

中居真輝さん(西中学校3年)

第三席

『私たちが守らなければならぬもの』 作文

関由佳理さん(中央中学校2年)

第一席

『国道2号線蘇生記』 紀行記録

橋本智子さん(関西大学第一高校3年、兵庫県伊丹市)

第二席

『あたしという名の物語』 創作

原田知佳さん(泉陽高校2年、大阪府堺市)

第三席

『倉ざめた海』 創作

平井涼さん(灘高校2年、大阪府池田市)

高校生の部

第一席 該当なし